

# Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科／食品開発科学科			
科目名称	心理学					授業形態	講義			
科目コード	111210	単位数	2単位	配当学年		実務経験教員		アクティブ ラーニング		
担当教員名	神垣 彬子								ICT活 用	
授業概要	<p>心理学の基礎的な知識について、発達、学習・記憶、動機づけ・情動、個人差・社会行動の観点から講義する。客観的に物事を捉える視点を学び、社会において心理学の果たす役割について考える。保育現場での実務経験を有する教員が、実際の事例を取り入れた授業を行います。</p>									
関連する科目	心理学についての学びをさらに深めたい場合は、履修後に教育心理学を履修することが望ましい。									
授業の方法と進め方	講義はパワーポイントを用いて行う場合がある。講義内容に関連した視聴覚教材を用いる場合がある。									
授業計画【第1回】	<p>第1回：心理学を学ぶための心構え 心理学は社会科学の一つであり、科学的視点を持って臨むことが求められる学問である、ということについて学ぶ。</p>									
授業計画【第2回】	<p>第2回：心理学とはなにか①：心理学の歴史 心理学の歴史と変遷を学ぶことで学問の性質を知り、人の心を分析することに対する意識のあり方を理解する。</p>									
授業計画【第3回】	<p>第3回：心理学とはなにか②：人間の心の「分析」 心理学の歴史と変遷を学ぶことで学問の性質を知り、人の心を分析することに対する意識のあり方を理解する。</p>									
授業計画【第4回】	<p>第4回：人間の感覚と心理学①：物事の認識 人間の心が人間の感覚に影響していることを、心理学の理論を通して学ぶ。</p>									
授業計画【第5回】	<p>第5回：人間の感覚と心理学②：記憶と忘却 人間の心が人間の感覚に影響していることを、心理学の理論を通して学ぶ。</p>									
授業計画【第6回】	<p>第6回：人間の感覚と心理学③：知覚と感覚 人間の心が人間の感覚に影響していることを、心理学の理論を通して学ぶ。</p>									
授業計画【第7回】	<p>第7回：人間の成長と心理学①：乳幼児期の発達 心理学の視点から人間の成長を捉え、各発達段階における人の心の動きの特徴や課題を理解する。</p>									
授業計画【第8回】	<p>第8回：人間の成長と心理学②：児童期の発達 心理学の視点から人間の成長を捉え、各発達段階における人の心の動きの特徴や課題を理解する。</p>									
授業計画【第9回】	<p>第9回：人間の成長と心理学③：青年期の発達 心理学の視点から人間の成長を捉え、各発達段階における人の心の動きの特徴や課題を理解する。</p>									
授業計画【第10回】	<p>第10回：人間の成長と心理学④：成人期・高齢期の発達 心理学の視点から人間の成長を捉え、各発達段階における人の心の動きの特徴や課題を理解する。</p>									
授業計画【第11回】	<p>第11回：性格や感情と心理学①：性格とはなにか 心理学の理論を通して、人間の性格や感情を科学的に捉える視点を身に付ける。</p>									

授業計画 【第12回】	第12回：性格や感情と心理学②：感情とはなにか 心理学の理論を通して、人間の性格や感情を科学的に捉える視点を身に付ける。
授業計画 【第13回】	第13回：社会・人間関係と心理学①：集団心理と人間関係 社会における人との関係の中で、心理学の理論や技術をいかに活用し、豊かな生活を送るかについて学ぶ。
授業計画 【第14回】	第14回：社会・人間関係と心理学②：社会における心理学 社会における人との関係の中で、心理学の理論や技術をいかに活用し、豊かな生活を送るかについて学ぶ。
授業計画 【第15回】	第15回：社会・人間関係と心理学③：教室における心理学 社会における人との関係の中で、心理学の理論や技術をいかに活用し、豊かな生活を送るかについて学ぶ。
授業の到達目標	現代社会では多様な価値観や生活様式が認められており、体系的に心理を学ぶ必要がある。将来携わるであろう、対人スキルや客観的視点が重視される医療・福祉・食品開発の分野で役立つ心理学の知識を習得することを目的とする。【職業知識・技能の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)
授業時間外の学習 【予習】	授業の前後にノートの予習を必ず行い、前後の講義内容との関連性等に着目しながら学びを深める。 次回の講義の予習箇所については、講義終了前に毎回提示する。
授業時間外の学習 【復習】	授業の前後にノートの復習を必ず行い、前後の講義内容との関連性等に着目しながら学びを深める。 当日の講義の復習箇所については、講義終了前に毎回提示する。
課題に対する フィードバック	最終試験の採点基準および回答のポイントについては、授業内容の振り返りとともに最終講義内で事前に解説する。
評価方法・基準	レポート課題（基礎用語の理解と指定評価方法テーマに対する論述問題）100点の結果で評価する。
テキスト	適宜紹介する。
参考書	適宜紹介する。